

# 1 アカデミック・ライティング指導モデルの整理

学年の発達の段階に応じて、指導事項ごとの内実を示し、手順の中で使用可能と思われる思考ツールや、情報収集の方法についても示している。（2年次はラーニングマップを活用）

		低	中	高
①	題材の設定	① 日頃から課題を集めておく課題ストック		ラーニングマップ作成
		① 調べるものを決める…イメージマップ（関連付け） ・ 関心があるもの。	・ 経験したこと、想像したこと。	・ 目的や意図に応じて、感じたことや考えたこと。
②	仮説の設定	② 仮説を立てる		
		・ 日常生活や実体験を基にして結果を予想する。	・ 複数の事例から、それらの共通点を導き出して仮説を立てる。	・ ルールや法則に物事を当てはめて仮説を立てる。
③	情報の収集	③ くわしく調べる…ベン図（比較）、XYチャート（分類） ボーン図・ピラミッドチャート・なぜなにシート（構造化）		
		・ 相手や目的に応じて、必要な事柄を調べる。	・ 集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。	・ 集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にする。
		・ 本（2年～） ・ メモ（2年～） ラーニングマップ適時追記	・ 科学読み物（3年～） ・ 百科事典（4年～） ・ 引用（3年～） ・ 要約（4年～）	・ 統計資料（5年～） ・ 目的に応じて引用（5年～） ・ 情報と情報をつなげる（6年～）
④	構成の検討	④ 文章の組み立てを確かめる…ステップチャート（順序立て）		
		・ 段落相互の関係などに注意する。	・ 内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくる。	・ 文章全体の構成や展開を考える。  1、調べたきっかけや理由 2、調べ方 3、調べて分かったこと（考えたこと） 4、まとめ（考えたこと、思ったこと）
⑤	考えの形成 記述	⑤ 文書を書く…クラゲチャート・バタフライチャート（理由付け） ボーン図・なぜなにシート（構造化）		
		・ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げる。	・ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にする。	・ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたり、事実と感想、意見とを区別して書いたりして、自分の考えが伝わるようにする。 ・ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりする。
⑥	推敲	⑥ 読み返す		
		・ 敬体と常体の違い。 ・ 間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。	・ 相手や目的を意識した表現になっているかを確認する。	・ 文章全体の構成や書き表し方などに着目。  ラーニングマップ追記・まとめ
⑦	共有	⑦ 感想を伝え合う		
		・ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。	・ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。 ・ 書こうとしたことが明確になっているか。	・ 文章全体の構成や展開が明確になっているか。  ラーニングマップ振り返り

